

平成28年度  
多賀城市立小・中学校  
「安心して過ごせる学校を目指して」  
調査結果



多賀城市教育委員会



平成28年度多賀城市立小・中学校「安心して過ごせる学校を目指して」調査実施要項  
多賀城市教育委員会学校教育課

1 実施の目的

いじめは、いじめを受けた児童生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものであります。

多賀城市においても、いじめは決して許されない行為であるとともに、どの子供にも、どの学校でも起こりうるものであることを十分認識の上、その防止と対策に取り組んで参りました。

「いじめ」の問題への取組で最も重要なことはいじめの起こらない人間関係づくりであり、次に重要なことは、早期の状況把握、早期発見、初期対応です。そこで今回、その取組の一つとして、児童生徒の気持ちを理解し、安心できる学校・学級となるような人間関係づくりの資料として活用を図るため、標記の調査を実施します。

2 調査実施期日

平成28年6月6日（月）～6月17日（火）の期間中 各学校で設定

3 調査対象児童・生徒

市立小中学校全児童・生徒（ただし、やむを得ないと校長が判断した児童・生徒は除く）

4 調査用紙 別紙1（別紙1－1低・中学年用、別紙1－2高学年・中学校用）

（※市教委で全児童・生徒分印刷し、配付いたします。）

6 調査結果の集計

各学校においては、調査結果を集計処理し（集計表市教委作成）市教委へ報告願います。

（メール添付文書で報告願います）

7 提出期限

平成28年6月30日（木）（多賀城市教育委員会学校教育課 担当宛て）

8 調査結果の活用について

(1) 教育委員会

- ・ 多賀城市における児童・生徒の人間関係の実態を把握し、改善のための資料とします。

(2) 市立小・中学校

- ・ 各学校における実態の把握と個別指導の資料とします。
- ・ 各校で行われる1・2学期末の学年保護者会等で活用します。

9 留意事項

(1) 本調査は、文部科学省の「いじめの定義」での調査を含んでいます。

いじめとは、「**当該児童・生徒が、一定の人間関係にあるものから、心理的、物理的な影響を受けたことにより、心身に苦痛を感じるもの。**」ととらえ調査を実施して下さい。児童・生徒が心身に苦痛を感じていると訴えたら「いじめ」と報告してください。

(2) 調査の実施においては、調査の開始前に調査用紙である別紙1のはじめにある囲み「安心して過ごせる学校を目指して」を読み聞かせ、学校（学級）はどうあるべきかなど話し合った上で実施してください。

(3) 調査結果から緊急の指導等が必要な場合もあります。いじめ・不登校対策担当者が中心となり学校の組織（いじめ問題対策委員会）を活用し、適切且つ速やかに対応ください。

(4) 実施にあたっては、児童・生徒の実態を考慮して行ってください。

# 安心して過ごせる学校を目指して 年 組 男・女

みなさんは夢や目標がありますか。夢や目標に向かうためには、自分に自信を持つことが大切です。自信を持つためには、集団の中で認められ、お互いが尊重されることが何より一番必要なことです。そのためには学校という集団の中にも安心して過ごせることが大切です。そこで、みなさんが夢や希望に向かって進めるように、日頃の生活が安心できるかどうかを振り返って見ましょう。一ヶ月の間にあてはまるものがあれば記号に○をつけてください。ただし、つい一週間以内にあったものには◎をつけて下さい。  
(質問1～10は、ア～ウの中でいくつかあてはまるときは複数に○をしてもよいです。)

1. 廊下などですれちがうときにおおげさによける。  
ア. したことがある イ. されたことがある ウ. みたことがある エ. ない
2. 隣の人と机を離す。  
ア. したことがある イ. されたことがある ウ. みたことがある エ. ない
3. 無視する。  
ア. したことがある イ. されたことがある ウ. みたことがある エ. ない
4. 人をわざと押したり、ぶつかったりする。  
ア. したことがある イ. されたことがある ウ. みたことがある エ. ない
5. 発言するとおかしくないのに笑う。  
ア. したことがある イ. されたことがある ウ. みたことがある エ. ない
6. 嫌がるようなことを何度も言う。(嫌なあだ名、悪口など)  
ア. したことがある イ. されたことがある ウ. みたことがある エ. ない
7. 嫌がるようなことを、ネットの掲示板などに書いたり、メールで送ったりする。  
ア. したことがある イ. されたことがある ウ. みたことがある エ. ない
8. 人をたたいたり、蹴ったりする。  
ア. したことがある イ. されたことがある ウ. みたことがある エ. ない

9. 持ち物を隠す。

ア. したことがある イ. されたことがある ウ. みたことがある エ. ない

10. あなたは「人が嫌がること」を

ア. したことがある イ. されたことがある ウ. みたことがある エ. ない

11. 前の質問（NO10）で ア. イ. ウと答えた人に聞きます。

してしまった内容

---

された内容

---

みた内容

---

12. この学級（学校）はどのくらいあなたにとって安心して生活できるかな？（一つに○をしてください。）

ア. 安心      イ. ほぼ安心      ウ. 少し不安      エ. 不安

不安・心配に思うことを書いてみましょう。

〔学習〕

〔部活やスポーツ少年団〕

〔友だち〕

〔家族〕

〔その他〕

(2) 児童・生徒対象いじめアンケート調査の結果について

安心して過ごせる学校をめざして（アンケート結果）

小学校

No.	内容	したことがある	されたことがある	みたことがある	ない	計
		人数	人数	人数	人数	人数
1	廊下などですれちがう時におおげさによける。	156	180	329	2,705	3,370
		4.6%	5.3%	9.8%	80.3%	100.0%
2	隣の人と机を離す。	334	242	458	2,382	3,416
		9.8%	7.1%	13.4%	69.7%	100.0%
3	無視する。	340	595	368	2,164	3,467
		9.8%	17.2%	10.6%	62.4%	100.0%
4	人をわざと押ししたり、ぶつかったりする。	227	570	482	2,177	3,456
		6.6%	16.5%	13.9%	63.0%	100.0%
5	発言するとおかしくないのに笑う。	149	293	475	2,454	3,371
		4.4%	8.7%	14.1%	72.8%	100.0%
6	嫌がるようなことを何度も言う。 (嫌なあだ名、悪口など)	268	782	459	1,958	3,467
		7.7%	22.6%	13.2%	56.5%	100.0%
7	嫌がるようなことを、ネットの掲示板などに書いたり、メールで送ったりする。	40	64	82	3,089	3,275
		1.2%	2.0%	2.5%	94.3%	100.0%
8	人をたたいたり、蹴ったりする。	510	768	678	1,781	3,737
		13.6%	20.6%	18.1%	47.7%	100.0%
9	持ち物を隠す。	202	394	380	2,457	3,433
		5.9%	11.5%	11.1%	71.6%	100.0%
10	あなたは「人が嫌がること」を	389	631	351	2,172	3,543
		11.0%	17.8%	9.9%	61.3%	100.0%
	1から10までの「されたことがある」と答えた件数と実児童数とその実割合	延べ件数	4,519			
		実児童数	987			
		実割合	29.9%			
		全児童数	3,301			
11	10の質問で「してしまった」、「されたことがある」、「みたことがある」の内容	したことがある	暴力（叩く、蹴る、つねる）・わざと押す・無視をする・1人だけ追いかける・物を隠す等			
		されたことがある	悪口・暴力（叩く、蹴る、つねる、髪を引っ張る）・わざと押す・無視する・怒鳴る等			
		みたことがある	悪口・暴力（叩く、蹴る、つねる、髪を引っ張る）・無視する・物を盗む、隠す等			
12	この学級（学校）はどのくらいあなたにとって安心して生活できるかな。	安心	ほぼ安心	少し不安	不安	計
		1,632	1,165	342	162	3,301
		49.4%	35.3%	10.4%	4.9%	100.0%
		学習	勉強についていけるか・できない教科（国語、算数、漢字）・発音・宿題が大変等			
		部活やスポーツ少年団	競技がうまくできるか・健康面（走ると咳き）・クラブが弱く負けそう・ついていけるか等			
不安・心配に思うことを書いてみましょう	友だち	無視される・暴力を振るわれる・友達が少ない・悪口・嫌がらせ・いじめられる等				
	家族	両親のケンカ・暴力・健康（たばこの害）・兄弟の仲・単身赴任の父が心配等				
	その他	健康・災害（火事、津波）・下校時一緒に帰る人が少ない・忘れ物・遭難等				

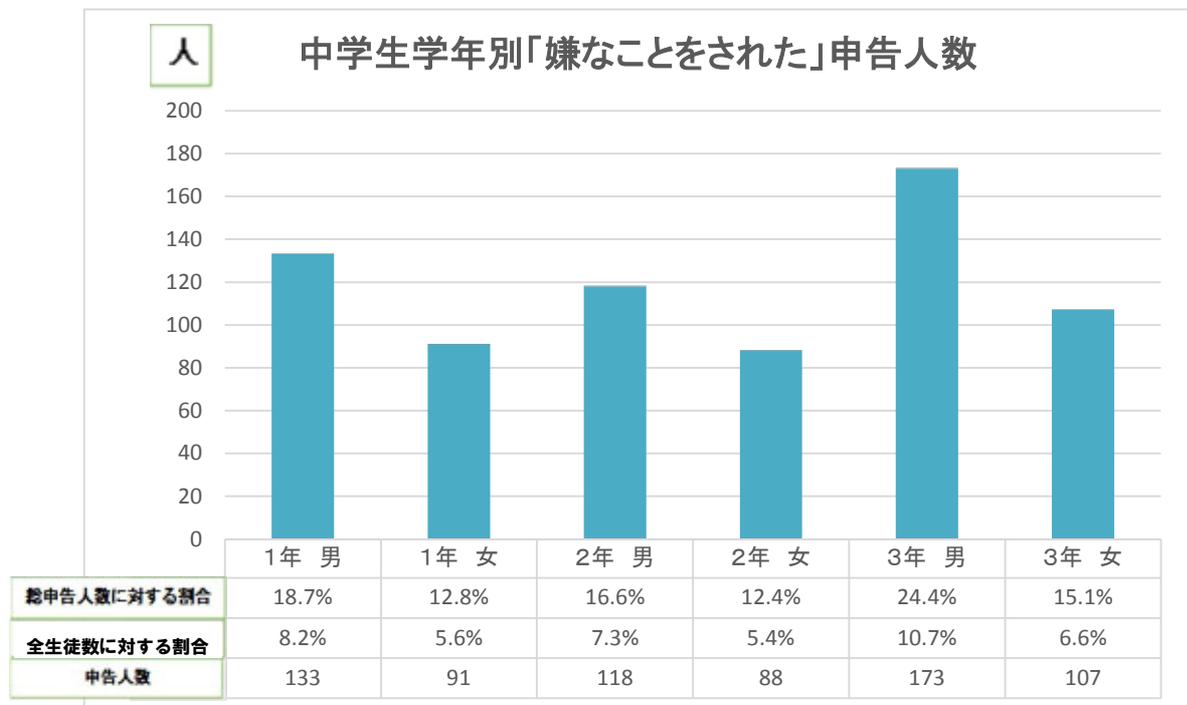
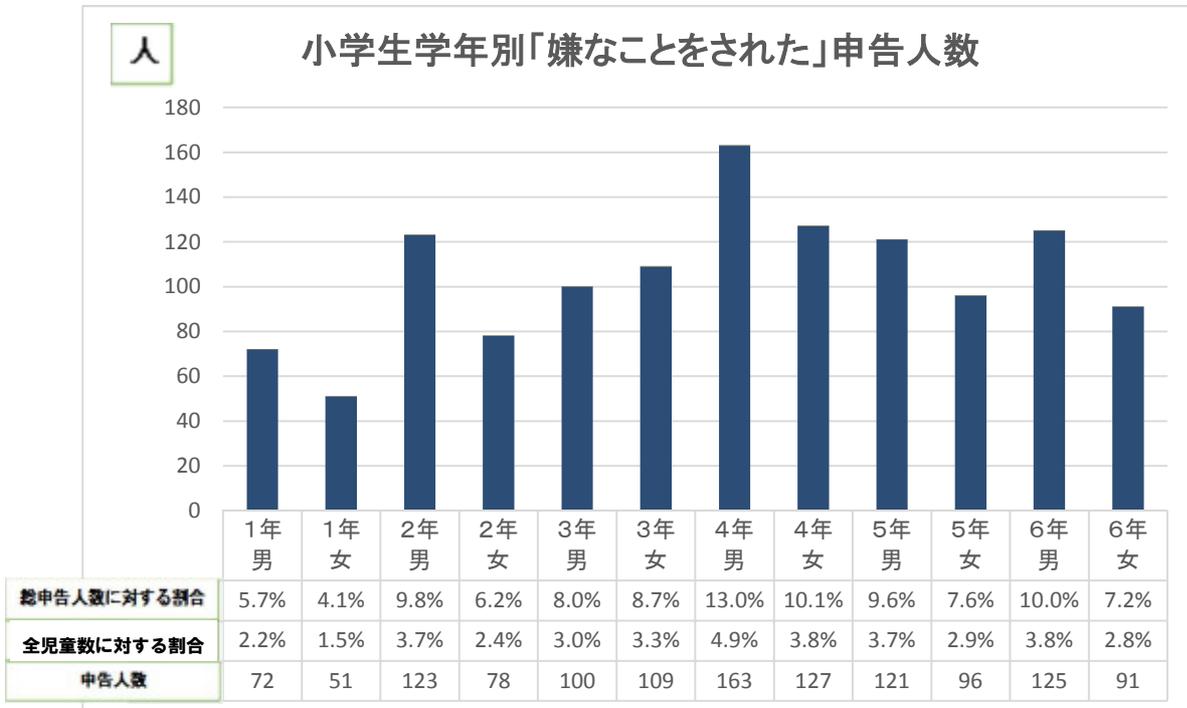


安心して過ごせる学校をめざして（アンケート結果）

中学校

1	廊下などですれちがう時におおげさによける。	したことがある	されたことがある	みたことがある	ない	計
		55	56	192	1346	1649
		3.3%	3.4%	11.6%	81.6%	100.0%
2	隣の人と机を離す。	したことがある	されたことがある	みたことがある	ない	計
		95	56	200	1309	1660
		5.7%	3.4%	12.0%	78.9%	100.0%
3	無視する。	したことがある	されたことがある	みたことがある	ない	計
		217	199	236	1089	1741
		12.5%	11.4%	13.6%	62.6%	100.0%
4	人をわざと押ししたり、ぶつかったりする。	したことがある	されたことがある	みたことがある	ない	計
		150	176	238	1150	1714
		8.8%	10.3%	13.9%	67.1%	100.0%
5	発言するとおかしくないのに笑う。	したことがある	されたことがある	みたことがある	ない	計
		108	129	368	1101	1706
		6.3%	7.6%	21.6%	64.5%	100.0%
6	嫌がるようなことを何度も言う。 （嫌なあだ名、悪口など）	したことがある	されたことがある	みたことがある	ない	計
		150	283	355	955	1743
		8.6%	16.2%	20.4%	54.8%	100.0%
7	嫌がるようなことを、ネットの掲示板などに書いたり、メールで送ったりする。	したことがある	されたことがある	みたことがある	ない	計
		38	63	136	1438	1675
		2.3%	3.8%	8.1%	85.9%	100.0%
8	人をたたいたり、蹴ったりする。	したことがある	されたことがある	みたことがある	ない	計
		259	231	374	969	1833
		14.1%	12.6%	20.4%	52.9%	100.0%
9	持ち物を隠す。	したことがある	されたことがある	みたことがある	ない	計
		104	162	262	1177	1705
		6.1%	9.5%	15.4%	69.0%	100.0%
10	あなたは「人が嫌がること」を	したことがある	されたことがある	みたことがある	ない	計
		247	245	235	1054	1781
		13.9%	13.8%	13.2%	59.2%	100.0%
	1から10までの「されたことがある」と答えた件数と実生徒数とその実割合	延べ件数	1,600			
		実生徒数	710			
		実割合	43.9%			
		全生徒数	1,617			
11	10の質問で「してしまった」、「されたことがある」、「みたことがある」の内容	したことがある	冷たくする・無視・悪口・馬鹿にする・言われたくないことを言う・上に乗りかかる等			
		されたことがある	隠し事・嫌なあだ名・馬鹿にされる・悪口・上に乗られる・取った物を返さない等			
		みたことがある	ばい菌扱い・馬鹿にする・蹴る・悪口・物を隠す・机に落書き・水をかける・びんた等			
12	この学級（学校）はどのくらいあなたにとって安心して生活できるかな。	安心	ほぼ安心	少し不安	不安	計
		443	821	256	97	1617
		27.4%	50.8%	15.8%	6.0%	100.0%
	不安・心配に思うことを書いてみましょう	学習	勉強についていけないか・勉強が理解できない・試験の点数・受験・志望校に入れるか等			
		部活やスポーツ少年団	吹奏楽コンクールのメンバーに入れるか・レギュラーになれるか・後輩の態度、人間関係等			
		友だち	友達のが立っている・人付き合いが面倒くさい・人の嫌がることを言っていないか等			
		家族	兄弟姉妹の仲・家族ゲンカ・会話がなない・親のケンカがうるさい等			
		その他	視力の低下・学級になじんでいけないか・行きたい高校が見つかるか等			





## ☆ 今後の改善のための対策 小学校 ・ 中学校

### いじめの未然防止

#### (小学校)

- 学校だより、学年・学級だより、ホームページを活用して教育活動の情報を発信し、理解を得られるようにする。
- 教育相談（年3回）、家庭訪問、PTA 活動等の機会を通し、家庭の役割やいじめ防止の意識を保護者に周知していく。
- 道徳教育の充実による思いやりの心の涵養を図る
- 帰りの会等での自分や友達への関わりを振り返る時間を設定する
- SC, SSWなどの校内機関を活用し、不安感や孤独感等を排除する
- いじめに関する研修会への教職員の積極的参加を図る
- いじめに関する研修会への保護者への周知、啓蒙を図る
- 全職員がいじめは絶対にゆるさないという毅然とした態度で指導にあたる。  
＜具体の行動＞いじめの雰囲気を感じたときは、見逃さずその場で確実に指導する
- 教師間の共通理解をはかり、共通行動により未然防止に努める。  
＜具体の行動＞わかる授業を基盤とした楽しい学校・学級づくりを進める。  
子どもとの良い関係作りに努め、話をたくさん聞く。  
遊びをとおして、子どもの仲間作りを支援する。
- 全教職員でいじめや不登校防止に取り組む体制を再構築する。
- 「いじめ発見のための校内体制づくり」を丁寧に実践し積み重ねる。→「児童が行きたくなる学校づくり」

#### (中学校)

- 教師と子どもとの信頼関係が築けるような学級づくりをする。
- 学校教育全体を通して、良好な人間関係づくりができるように指導をする。
- 学校環境適応尺度 (ASSESS : Adaptaion Scale for School Environment on Six) 実施し、結果を十分に活用する。
- 部活動では、顧問を中心に部員相互の望ましい関係作りに努める。
- 学級では、ソーシャルスキルトレーニング等を取り入れ、いじめのない学級作りに努める。
- 全職員一丸となり、今後も安心して過ごせる学校・学級作りに努める。
- 日頃から、チャンス相談を意図的に設定する。
- 「安心して過ごせる学級」という視点で、学級経営を再度見直す。
- 道徳の時間で、いじめをテーマにした主題の学習に取り組む。その際、話し合い活動を重視する。
- 生徒会活動の中に、いじめ防止ポスターなどを企画させる。

## いじめの発見

### (小学校)

- ・全職員で、何がいじめなのかを共通理解し、すべての教育活動においていじめの有無を確認していく。
- ・定期的な「いじめアンケート」を実施、早期発見と早期解決に努めていく。
- ・地域見守り隊との連携を深める（定期的な懇談会で、安全についての情報のほか、児童の登下校の様子を把握する）
- ・学年のチーム、学校全体のチームの複数の目で児童の生活の様子や行動から目を離さない。＜具体の行動＞毎月の生徒指導部会、学年会、生徒指導全体会の機能化
- ・いじめの兆候が感じられたときの報告・対応の校内体制を確立する  
＜具体の行動＞いじめ対策委員会の機能化(定例化・臨時会)
- ・調査結果をもとに、学校の生徒指導部を中心に、学校全体の傾向についての分析を行い、具体的な対策を練る。
- ・従来から行ってきた「10のきまり(学習編)(生活編)」についての児童及び教職員へのアンケート調査とも関連させ、学校全体の課題として取り組みを考える。
- ・調査の自由記述の気になる回答について学年・学級毎に指導を行う。
- ・個人が特定できない場合には、学級会や学年集会などを開き、問題の解決にあたる事とする。
- ・学校生活アンケートを基に、よりよい学級経営を目指す。
- ・学校生活アンケート(簡易)の継続(毎月)
- ・学校生活アンケート(書き込み式)の実施(年3回)
- ・全職員で子どもたちを注意深く見守っていく。

### (中学校)

- ・学校生活アンケートの定期的実施し、アンケートをもとに生徒に寄り添った指導や支援をなお一層充実させていく。
- ・学校生活アンケートをもとに、いじめ・不登校対策担当教師を中心に組織として対応する。
- ・集計結果をもとに、なお一層生徒理解に努める。
- ・本校で行っている「学校生活アンケート」をもとに、更にいじめの実態の把握に努める。
- ・教員による朝の登校指導、担任による観察で生徒の表情や友人関係などの生徒の変化に気づき、積極的に声掛けを行う。
- ・毎週生徒指導部会を開催し、各学年で起きた事件、事故などについて報告を行い処理の仕方や対応の仕方について共通理解を図ってきたが、より一層生徒の実態を把握するため、生徒の人間関係についても情報の共有を図る。
- ・学年会議、打合せ、職員会議などの場において、生徒の様子について、これまで以上に情報の共有化を図る。

## いじめの対応

### (小学校)

- 学年で情報を共有するだけでなく、管理職、生徒指導主任等を交えて相談し、きめ細かい対応が取れるようにする。
- 今後も、生徒指導ファイルに事実や対応を累積し、情報を共有化できるようにする。
- 学校いじめ問題対策委員会を行い、外部の方々からの意見を参考にして教育計画の見直しを図っていく。
- 生徒指導主任を中心とした組織的対応により、該当児童の心のケア、いじめた児童との関係修復を早急に図る。
- 保護者への説明などを迅速に行い。該当児童を支える人との共通理解や連携を図る
- 学級や学校等への所属感や友達の存在感を感じさせ、安心して学校へ来られる環境作りを行う
- SC、SSWなどの校内機関を活用し、該当児童の安心感の保持や悩みの解消を図る
- 児童の様子を電話や連絡帳を通じて迅速に保護者に伝えとともに、SCやSSWなどの学校内の相談機関等を活用し、精神的苦痛の軽減や生活上の対策での連携を図る
- 個人が特定できる場合には本人の不利益にならないよう個別に事情を聴き、複数の教員が支援にあたる事とする。
- 調査の結果から明らかになった、学級や学年の傾向について学年懇談会・学級懇談会等で話題にし、保護者とともに改善方法を考え、協力して問題解決にあたる。

### (中学校)

- 指導の必要な内容については、いじめ問題対策委員会を中心に適切かつ迅速に指導に当たる。
- 安心して過ごせる学校を目指して」集計結果を職員で共有する。特に一週間以内に受けた嫌がらせについては、事実を早急に確認する。